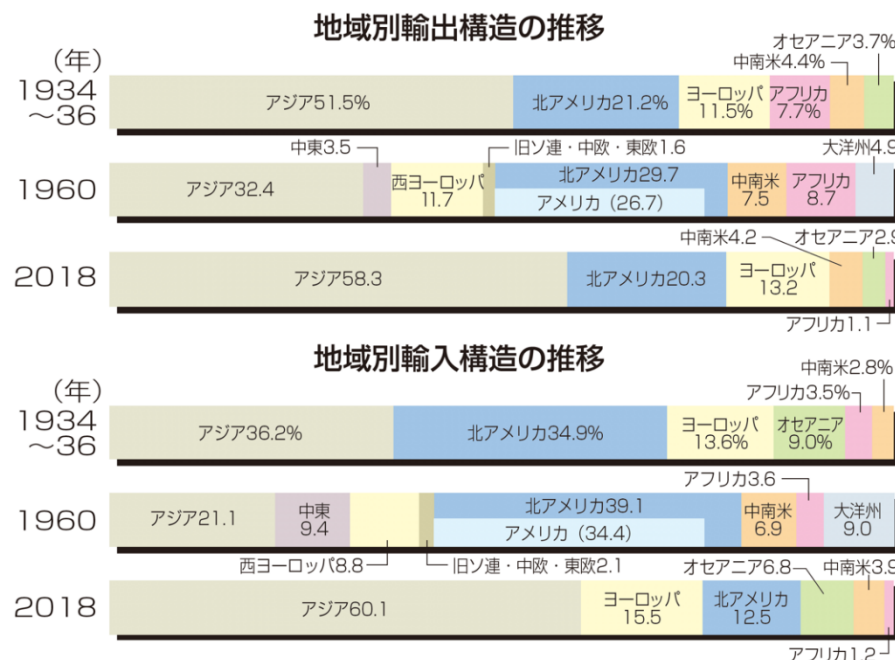
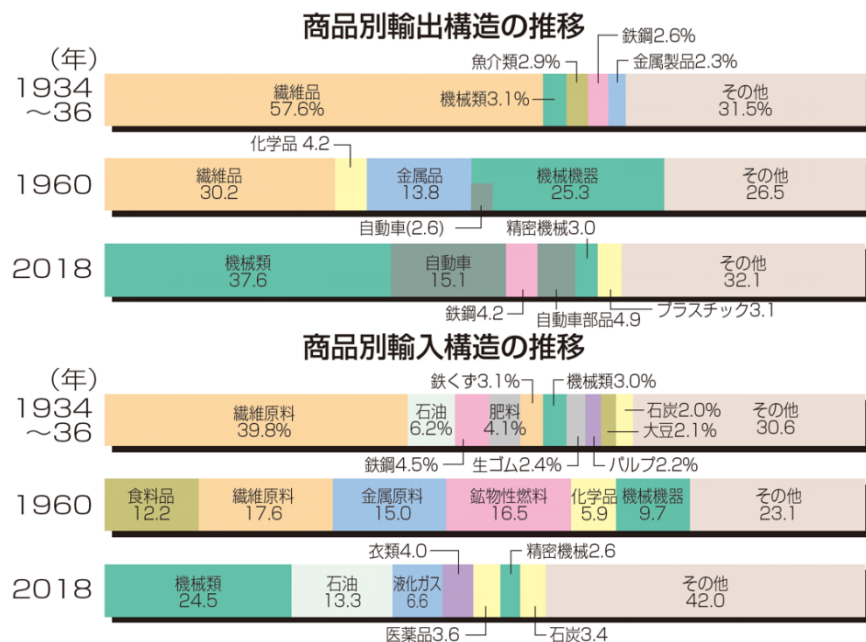


●日本の貿易の推移 輸出品・輸入品と輸出先・輸入先の推移  
GDP関連指標の概念の関係 (2017年, 名目)



輸出入品とも「機械類」が第1位の品目である。輸入品としての機械類は軽工業製品であり、また輸出品は各種先端技術品である。輸入品の変化では、戦前や戦争直後は綿花などの繊維原料、高度経済成長期前後は原油・鉄鉱石などの鉱物性原料、さらにバブル崩壊以後は製品や食料品となっている。

輸出入先については、アジア・北アメリカで約7割を占め、次にヨーロッパの順である。とくに近年、NIESやASEANの経済成長によりアジアの比率が高くなっている。